

(1面)

- ・小矢部川ダム管理事務所
- ・「元気とやま」むらづくり推進大会の開催
- ・新明(しんみょう)発電所【開所式】



# となみ野水士里通信

## 第26号

平成30年8月22日

富山県砺波農林振興センター  
 農業農村整備広報・広聴連絡会議  
 〒939-1386 砺波市幸町1番7号  
 電話(0763)32-8124【指導課】

### 小矢部川ダム管理事務所

当事務所は、石川県境旧福光町の刀利ダムにあり、近くの白中ダムとあわせて二つのダムの操作や施設管理を担当しています。両ダムともに、かんがい・発電・洪水調節を目的としています。刀利ダムはコンクリートアーチダム、白中ダムは土砂を積み上げたフィルダムで、管理の方法は大きく異なります。

#### ①県内外から人気殺到!? 「ダムカード」



ダムカード

当事務所では、平成二九年四月より、刀利ダム及び白中ダムを訪問いただいた方にダムカードを配布しています。

ダムカードとは、ダムの役割などをより広く知ってもらうことを目的として、国土交通省と独立行政法人水資源機構が平成一九年に始めた取り組みで、ダムを直接訪問された方にそのダムの情報や特徴を記したカードを無料で配布するというものです。カードの大きさや掲載する項目は全国で統一されており、おもて面にはダムの写真、うら面にはダムの型式や貯水容量などの情報が記載されています。



現在では、全国でおよそ八百ヶ所(うち県内二三ヶ所)のダムでカードの配布が行われており、ダムマニアと呼ばれる愛好家を中心に全国各地のダムで観光地化が進んでいるようです。興味のある方は是非一度ダムへ足を運んでみてください。

#### ②防災減災・基幹水利施設

「白中2期地区」  
 白中ダムでは、現在、県営事業「白中2期地区」(H二八〜三三)により、老朽化したダム施設の更新工事を行っています。

今年度は、田んぼへ水を供給する要ともいえる取水ゲートの整備工事を行います。

九月からは、据付工事に着手する予定で、まず取水ゲートを引き上げて垂直に立てた後に、その周囲を足場で囲んで、扉体の塗装や部品の交換などを行います。

また、来年度からは、ダム管理所と流域内の警報局や水位局等の放流警報システム関連の更新工事を行う予定としています。工事の見学を希望される方は当事務所までご連絡ください。



表面取水ゲート

### 新明(しんみょう)発電所【開所式】



開所式の様子

- <諸元>
- 発電出力：最大 700kw
  - 最大使用水量：8.50 m3/s
  - 有効落差：10.75m
  - 年間発電量：4,290Mwh

平成26年度から地域用水環境整備事業「庄西幹線用水地区」として、庄西用水土地改良区が事業主体となり、総事業費約24億円かけて整備を進めてきた新明発電所が、この度めでたく完成し、平成30年7月18日(水)に開所式が行われました。

この発電所では、農業用水を利用した小水力発電を行っており、年間発電量は約429万kwhで、一般家庭約1,430世帯分に相当する電力を発電しています。発電した電力は全量を電力会社に売電し、収益は土地改良施設維持管理費の軽減を図るとともに、農業水利施設の維持・保全体制の構築に資することを目的としています。

また、年間約2,363tのCO<sub>2</sub>削減効果が期待でき、スギ人工林約268haの負担を軽減することで、地球温暖化対策にも貢献しています。

### 「元気とやま」むらづくり推進大会の開催

第十二回「元気とやま」むらづくり推進大会が平成三十年七月十七日(火)に県民会館で開催されました。

農業・農村の振興と多面的機能の発揮や中山間地域の保全活動を図るため、取り組みの必要性や成果を広く県民の皆さんにお知らせするとともに活動指導者の情報交換の場として毎年開催されています。

本年度の知事表彰県内六団体のうち、砺波管内からは原野集落(砺波市)、細野集落(南砺市)の二地区が表彰されました。知事からの表彰のあと、優良活動事例として取り組み事例をそれぞれの集落から、地域の特性を生かした活動や、日ごろの集落活動などについて発表がありました。

また、一日市場では、県内十四店から出店され、各地の特産品や加工品の販売に多くのお客さんでにぎわいました。



細野集落(南砺市)



原野集落(砺波市)

#### ☆砺波農林振興センター

管内の情報をホームページで発信中!!

<http://www.pref.toyama.jp/branches/1633>

#### 富山県砺波農林振興センター

〒939-1386 砺波市幸町1-7(砺波総合庁舎内)



砺波農林

検索

### 編集後記



平成最後の夏は、厳しい暑さでしたが、皆様、体調はいかがでしたか。この猛暑の影響で、多くの方が熱中症になり、救急搬は昨年を大きく超えたそうです。その影響が農作物へも心配されましたが、作況指数の予測では「やや良」とされており、刈取りに向け今後は台風と秋雨前線が心配となる時期になります。

暑くて辛い夏が終われば、収穫・恵の秋を迎えます。ナシなどの果物が回り、稲の穂も垂れはじめ、新品種の「富富富」も収穫を待っています。

そして、収穫が終われば、農業農村整備として本格的な工事の時期となります。各現場では、手綱を引き締め、完成を目指しましょう。(計画班 ☆)

ブログやっています。「とやま水士里探訪ブログ」で検索を!

<http://facebook.com/toyama.nousonsebi>

